

農林水産技術会議「大野総務官」が岩手県内の先端技術展開事業実証関連施設を視察されました

11月25日、農林水産技術会議事務局の大野総務官が大船渡市にある「岩手県栽培漁業センター大船渡事業所」を視察され、当所の職員が「アワビ緊急増殖技術開発研究」での取り組み状況を説明しました。

岩手県栽培漁業センター大船渡事業所



アワビ稚貝の飼育施設



アワビ親貝の飼育施設

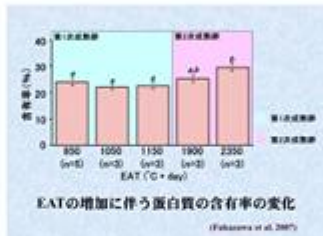
実証研究の概要



同じ親貝を継続して成熟させ、3回の採卵が可能であることを確認



着底初期のアワビ稚貝の良好な餌である針型珪藻を培養・給餌



卵質の良い二次成熟卵により着底初期の生残・成長を改善

親貝1個体から3回の採卵を実施。産卵から採苗までの成績に差は認められない。

生産効率の倍増

二次成熟卵と針型珪藻による成長・生残の改善効果を確認する。

生残率の向上

期待される効果

- ・限られた親貝資源を有効に活用した種苗生産の実現。
- ・良質卵の確保と好適餌料による採苗率、生残率、成長の改善。
- ・種苗生産工程を改善し、燃料費等を削減することで生産コストを低減。